

永遠の真理

ETERNAL TRUTH



2023 年 6 月

「神のむすこ娘たち」「放蕩息子（Ⅱ）」
「キリストが戸をたたいておられる（Ⅰ）」「ブロッコリーのガーリックソテー」

永遠の真理

いま永遠の真理の土台の上に堅く立ちなさい。(3T p.45)

目次

今月の聖書勉強

「放蕩息子(Ⅱ)」

4

聖書の教え

朝のマナ

「神のむすこ娘たち」

8

Sons and Daughters of God

現代の真理

「キリストが戸をたたいておられる(Ⅰ)」

39

Good Way Series- 正道 -

力を得るための食事

「ブロッコリーのガーリックソテー」

44

レシピ

お話コーナー

「人がもった園の家庭(Ⅰ)」

46

聖書物語

【正丸教会】

〒368-0071 埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保 1607-1
電話：0494-22-0465

【沖縄集会所】

〒905-2261 沖縄県名護市天仁屋 600-21
電話：0980-55-8136

発行日 2023年5月7日

編集&発行 SDA 改革運動日本ミッション

〒368-0071 秩父郡横瀬町芦ヶ久保 1607-1

Illustrations: Sakusabe on Front page; Sermon View on
page 48

アクセス www.4angels.jp

メール sdarm.shomaru@gmail.com

Printed in Japan

天の聖所における彼の働きに従う

わたしは、立派で気高く栄光に輝いた贖い主を見た。彼は、栄光の国を去って、この暗いさびしい世界に来られて、彼の尊い生命を与えて、義なるかたであるにもかかわらず、不義なる人々のために亡くなられたのである。彼は、残酷なあざけりとむち打ちに耐え、いばらの冠をかぶり、全世界の罪の重荷を背負って、ゲッセマネの園で、大きな血の汗を流された。天使は、「これはなんのためだろうか」とたずねた。わたしはそれがわれわれのためであったことを悟った。彼は、われわれの罪のために、このすべての苦しみを受け、彼の尊い血によって、われわれを贖おうとされたのである。

それから、イエスが父の前で、彼の血と彼の苦難と彼の死が人々のためであることを訴えておられるとき、また、人々が生ける神の印を受けるように、神の使命者たちが彼らに救いの真理を伝えている…

イエスの苦難と、人間のためにご自身の生命をお与えになったその深い愛とが、もう一度わたしの前に示された。…わたしは、神がこの地上でしておられる急速な働きは、間もなく速やかになしとげられて、使命者たちは、散らされた群れをさがし出すために、急いで行かなければならないことを見せられた。…

大きなふりが始まった。そしてこれは続いていく。そして、真理のために勇敢に屈することなく立ち、神と神の働きのために犠牲を払うもの以外はみなふるわれる。…

それからわたしは、イエスの美と気高さを見た。彼の衣は、どんな白よりも白かった。どんな言葉も、彼の栄光と崇高なうろわしさを描写することができない。(初代文集 116-119)

わたしは、父なる神が御座から立たれて、炎の車に乗って幕のなかの至聖所にはいられ、お座りになるのを見た。それから、イエスが御座から立ち上がられた。そして、頭をたれていた人々の大部分が、彼とともに立ち上がった。…イエスが立たれたときに立った人々は、彼が御座を立て、彼らを少しばかり導き始められるのをじっと見つめていた。…そのとき火の炎のような輪がついた雲の車が、天使たちにかこまれて、イエスがおられるところに来た。彼は、その車に乗って、父なる神が座っておられる至聖所にはいつていかれた。そこでわたしは、父なる神の前に立っておられる大祭司イエスを見た。彼の衣の縁には、鈴とぎくろとがあった。イエスとともに立った人々は、至聖所のイエスを信仰をもって仰いで、「わが父よ、あなたの霊を与えてください」と祈るのであった。すると、イエスは、彼らに聖霊を注がれた。その息吹のなかに、光と力、そして多くの愛と喜びと平和があった。(初代文集 125-126)

これらの人々は、天の聖所に関する真理と、救い主の務めの変化とを認め、信仰によって、天の聖所における彼の働きに従っていった。(各時代の斗争闘下巻 145)

聖書の教え

放蕩息子 (II)

ギリシャの歴史家ヒロドトスは、イスラエルの国境外でさえ、豚の世話という職業は、非常に不快な職業であると考えられていたと主張しています。この研究者によれば、エジプトでは、豚の世話人は市民社会と交わることが許されず、また神の公的な礼拝に出席することも許されていませんでした。なぜなら、エジプトのもっともみじめな階級だと考えられていたからです。社会の他の階級の人々は彼らと何の婚姻関係を持ちたいと望みませんでした。

「どん底」まで落ちて、聖書はこの青年が「本心に立ちかえって」と述べており、彼が以前にはなかった考えを示唆しています (ルカ 15:17)。わたしたちが見てきたように、罪は狂気であり、悔い改めは正氣に戻ることです。残念なことに、多くの人々は人生において他の選択肢のない状況におちいつてはじめて、深刻さに気がきます。わたしたちは誇り高いあまりに自分たちで問題を取り除くことができると信じています。自分に、できる、できる!と言い聞かせます。この状況では、神がわたしたちを助け、救出することはおできになりません。わたしたちはイエスに明け渡し、自分自身の力で戦うことをやめる必要があります。

救助員が海やプールでだれかがおぼれかけているのを見ると、すぐにその人をつかもうとはしません。彼はその人を囲み、そして犠牲者が疲れたことがわかると、そのときにその個人を救出します。なぜすぐにそうしないのでしょうか。なぜそんなに長く待つのでしょうか。彼はおぼれかかっている人がもがいているときに、その人を抱えると両方とも沈んでしまうことになりかねないことを知っているのです。あなたはだれかを救おうとすることによって、二人の命をそのまま危険にさらすことがないように、助けるべき正しいタイミングを知る必要があります。

成功と独立に価値をおく社会において、神に助けを求めることは弱さのしるしに見えます。自分の事情に他の出口はなく、自分に答えがないことを認めるのは屈辱的であるように見えます。わたしたちがあくまで神に頼らず生きていけると信

じている間は、神がわたしたちのためにおできになることはわずかしかなかった。このお方がわたしたちに疲れるのを許される理由は、おそらくわたしたちを神の愛から追いやってしまうその誇りを打ち破るためかもしれません。青年は、この絶望という地点に達してようやく自分の父親の品性の価値を認めることができました。あなたの「どん底」は何でしょうか。

この物語の中の青年は、美しい夢が恐ろしい悪夢に変わりました。今、彼は自分の現状と、快適と豊かさという雰囲気を享受している自分の父親のしもべたちの状況を比べています。自分がそこから出てしまったとは、なんというおろかなことだったでしょう！彼は御父の家にあった真の自由を、自由という幻覚と取り換えてしまったのです。それはもっとも低俗な奴隷状態以外の何ものでもありませんでした。

「本心に立ちかえつ」た後、彼は賢明な決断をくれました。「立って、父のところへ帰って、こう言おう、父よ、わたしは天に対しても、あなたにむかっても、罪を犯しました。もう、あなたのむすこと呼ばれる資格はありません。どうぞ、雇人のひとり同様にしてください。」（ルカ 15:18, 19）。そして彼はその決断通りにそこを去りました。「そこで立って、父のところへ出かけた」（20 節）。

彼を自分の父親の家に戻らせたのは、何だったのでしょうか。彼の父親は公平で善良であるという確かさでした。彼は二人が再びあった時にはじめて、親の愛の深さを理解しました。わたしたちが認めるように、息子が戻って来るのは、彼が自分の父親からどれほど愛されていたかを自覚する時です。家を出る前は、自分が遺産を受ける資格があると考えていました。今、自分が正気に返った後は、自らを無価値だと宣言します。自分の無価値さを認めることが、神に戻る基本的な第一歩です。

よく栄養が取れて、着飾って、ラクダに自分の財産を積み上げて家を出て行った者が、今ははだしてやせ衰え、ぼろをまとって、病気でいやしむべき様子で戻ります。

放蕩息子が去った後、彼の父親はいつも自分の不幸な息子が戻ろうと決心するのではないかと外を見ていました。今、遠くから、彼は自分のむすこらしい人影をとらえます。彼が出発したときはまったく違うにもかかわらず、彼の父親の愛は、彼を認めます。彼は他人の目が自分のむすこのみじめな状態を見ることを許したくありません。走って戻ってきた病気のむすこを抱きかかえ、自分自身の上着をとって、自分の子供のはだかをおおいます。

今、息子は自分が計画していた告白を引用し始めます。「父よ、わたしは天に対しても、あなたにむかって、罪を犯しました。もうあなたのむすこと呼ばれる資格はありません」(ルカ 15:21)。父親は悔いた青年が練習してきた告白を終わらせるのを待ちませんでした。かえって自分の僕たちに最上の衣服、指輪、またはきものを持ってくるように命じました。新しい衣は、父親が自分のむすこが守られることを案じてただけでなく、彼が過去は問題ではないことをしっかり理解させようとしていたことを示唆しています。彼は息子に指輪を与えるように命じました。この行為によって、彼は息子の誉れと尊厳ある地位が回復されたことを示そうとしました。はくための新しいはきものを彼に与えるように命じました。はだして歩くのは奴隷だけです。彼のいという息子はしもべではありませんでした。彼は家に戻ってきたいという家族の一員なのです。彼は戻ってきた放蕩息子の傷ついたほこりまみれの足を守りたいと望みました。

この愛の証拠を熟考して、ラッセル・ノーマン・チャンプリンは次のようにコメントしています。

「苦しんでいた息子は自分の短い言葉を何度も練習しました。彼が少しでも自分の父親の心を動かし、父親の雇人の中に自分の場所を確保できるようにと期待しながら。しかし、彼が自分のスピーチを始めようとしたとき、父親がすぐに愛情を示し、それをささげったので、彼は、『どうぞ、雇人のひとり同様にしてください』と言うことはできませんでした。これらの最後の言葉…は、親の愛が表されることによって包み込まれてしまいました。息子はあまりにも震えていたので、自分の父親に示された大きな愛情の顔をまのあたりにして言葉にすることができませんでした。心理的なやさしさ、繊細な表れ(メイヤー)。わたしたちもまた、この屈辱的な告白をなす必要がなかったことを認めます。なぜなら、父親は自分

自身の行動を通して、このすべてからなんらかの回復のかたちが結果となることをはっきりと示していたからです。それにもかかわらず、息子は自分の告白を、少なくともその一部を述べ、そのあとに和解の口づけがありました。これは、彼の告白が自分を益するために用意されたものではなく、本物の悔い改めによっておわれたものであることを示しています。」(新約の解説 2 卷 155)

父親からしもべたちへの命令の中で述べられた三つのもの、最上の着物、指輪、一足のはきものにはそれぞれ特別な意味があります。

神のむすこ娘たち

Son and Daughters of God



6 月

わたしたちは最善を選ぶ

常にキリストに仕えることを今日選ぶ

「もしあなたがたが主に仕えることを、こころよしとしないのならば、あなたがたの先祖が、川の向こうで仕えた神々でも、または、いまあなたがたの住む地のアモリびとの神々でも、あなたがたの仕える者を、きょう、選びなさい。ただし、わたしとわたしの家とは共に主に仕えます。」(ヨシュア 24:15)

私たちは傷のない小羊としてのキリストの尊い血によって買われた。これは並ぶもののない、なんという無限の価であろうか。しかし、キリストは私たちを買われ、ご自分のもとへ来るようにと招いておられるが、まだ世は私たちにその魅力を提供し、主導権を握ろうとしている。その葛藤の中で勝利するのは神に対する愛であろうか、それとも世に対する愛であろうか。サタンと悪天使たちは、魂に有害な暗示を受け入れさせようとして、人の心に通じるあらゆる通路を見張っている。敵は、誘惑の荒野でキリストに誘惑となるものを提供したように、私たちを世へと勝ち取るために誘惑を差し出す。私たちが自分自身には手の届かない、上なる力に頼らないかぎり、敵は私たちを滅ぼすのに成功する。しかしイエスを見つめて、その生涯とご品性を研究し、このお方のようにになりたいと熱心に願うことによって、私たちの思いは正しい方面で均整がとれ、それによって、利己心に勝利し、義の道を選ぶことができる。……

「あなたがたの仕える者を、きょう選びなさい」という聖句を私は若い人々に勧告する。明確な選びが必要である。イエスが「あなたがたは神と富とに兼ね仕えることはできない」と仰せになったからである。……

あなたの心がキリストへの愛で満たされているなら、あなたを支配していた情欲、これにふけることによって、一時的な気高い感情が徐々にむしばまれ、魂がサタンの誘惑のなすがままになる、その情欲よりも、このお方の方が力強いことが明らかに示されるであろう。……罪人の心が感動させられるなら、彼は、自分の意志を神のご意志に委ねる。……イエスのうちに測り知れない魅力を見る者は、その心が捕えられる。(ユース・インストラクター 1892 年 10 月 27 日)

私たちの司令官としてキリストを選ぶ

「彼は言った、『いや、わたしは主の軍勢の将として今きたのだ』。ヨシュアは地にひれ伏し拝して言った、『わが主は何をしもべに告げようとされるのですか。』」（ヨシュア 5:14）

ヨシュアがエリコを攻める前に、朝出かけた時、いくさのために完全武装をした軍人が、彼の前にあらわれた。そこでヨシュアは、「あなたはわれわれを助けるのですか、それともわれわれの敵を助けるのですか」と尋ねた。するとその人ばわたしは主の軍勢の将として今きたのだ」と答えられた。もしヨシュアの目が開かれて……その光景を見るのに耐えられたなら、イスラエルの子らの周りに陣を敷いた主のみ使いたちが見えたことであろう。なぜなら、よく訓練された天の軍勢が、神の民のために戦おうとして来ていたのであり、主の軍勢の将であられる方が指揮をとる為にそこにおられたからである。……エリコを攻め落としたのはイスラエルではなく、主の軍勢の将であつた。しかしイスラエルは、自分たちの救いの司令官を信じていることを示すために、なすべき役割があつた。

戦いは毎日行われなければならなかつた。あらゆる魂のうちに、暗黒の君と生命の君の間で大きな戦いが行われている。戦わなければならない大闘争がある。……しかしあなたは戦いの主役ではない。神の代理者として、あなたは神に自分自身を委ねなければならない。そうすれば、神があなたの協力によって、あなたのために戦いを計画し、指揮し、戦うことがおできになる。生命の君がその働きの頭であられる。このお方は、あなたが原則に忠実でいられるように、自己との日毎の戦いにあなたと共におられなければならない。そうすれば、主導権を求めて戦う時に、情欲はキリストの恵みによって従わせられる。その時あなたは、私たちを愛しておられるお方を通して、征服者以上に成功する。イエスはすでに体験されたのである。このお方はあらゆる誘惑の力を知っておられ、あらゆる緊急事態にどのように対処すべきか、あらゆる危険な道であなたをどのように導けば良いかを知っておられる。（ビュー・アンド・ヘルド 1892 年 7 月 19 日）

あなたを愛し、あなたを幸福にしたいと思われるがゆえに、ご自身の尊い命を与えて下さったお方は、あなたの関心事をいつも心に留めておられる。（ユース・インストラクター 1886 年 10 月 20 日）

心を喜ばせる真の友の勧告

「油と香とは人の心を喜ばせる。そのように友の優しさは心からの勧告によってわかる。」(箴言 27:9 欽定訳)

どの人にとっても物事がうまく行かなくなり、悲しみや落胆が魂を圧迫する。その時、慰め、力をわけ与える友が個人的に存在するなら、破滅させようとしている敵の投げ槍を阻止する。クリスチャンの友人は、本来いるべき半分もない。誘惑を受けた時、危機の時、真の友は何と価値があることであろうか。そのような時、サタンはわななっている足をつまずかせようと代理人を送り込む。しかし勧告してくれる真の友、人を引きつける、満ちあふれる希望を分け与え、魂を道徳的に高める穏やかな信仰を分け与える真の友、ああそのような助けは高価な真珠よりも、もっと価値がある。(S 各時代の希望バィブル・コメント [E・G・ホト・コム] 3 卷 1163)

ごく幼少の時からサムエルの生涯は敬神と献身の生涯であった。幼い時にエリの監督のもとに置かれて、その品性の愛らしさは、この年配の祭司の愛情を引き出した。サムエルは親切で、寛大、勤勉で従順、そして礼儀正しかった。……国家の最高執政官であるエリと、無邪気な子供との間に、これほどの暖かい友情が存在するというのは非常に珍しいことであった。サムエルは役に立ち、愛情深かった。そして、どの父親がその子供を愛するよりも、エリがこの少年を愛する方が愛情がこもっていた。……

青年と年配の人が互いに頼っているのを見るのは、どれほどうるわしいことだろう。青年は勧告と知恵を求めて年配の人を見上げ、年配の人は助けと思いやりを青年に期待しているのである。これはそうあるべきである。神は青年が年配の人との友情に喜びを見出すような品性の特質を持ち、死の境界線へと近づいている人々に対して、青年が愛情という優しいきずなで結ばれるよう望んでおられる。サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1888 年 10 月 19 日

真の友の、力強い助けになる手がしっかりとつかむと、金や銀よりも価値のあるものとなる。(手紙 16, 1886 年)

知恵ある人との交際を求める

「知恵ある者とともに歩む者は知恵を得る。愚かな者の友となる者は害をうける。」(箴言 13:20)

ごく幼ない時から清廉潔白という原則を品性の中に織り込む必要がある。それによって、青年が成人男女の最高の標準に達することができるからである。……青年は自分の目的や生涯の仕事が何であるのかをまじめに考え、自分の習慣が、あらゆる墮落というしみに染まらない方法で基礎を築かなければならない。もし彼らが他の人々に影響を与える立場に立ちたいのなら、自分をしっかりと保たなければならない。……

私たちは百合の花から教訓を学ばなければならない。そして道徳心を墮落させる傾向のある、魂に滅びをもたらす感化にとり囲まれていても、私たちは墮落させられることを拒み、悪い交際で私たちの心を墮落させることのない場所に自分自身を置く。青年は個人的に、しっかりとした足取りで上に向かって、苦勞しつつ歩いている人々との交わりを求めるべきである。(ユース・インストラクター 1893 年 1 月 5 日)

あなた自身の心を探り、自分の進路を判断しなさい。自分がどのような交際を選んでいいのかよく考えなさい。知恵ある人との交際を求めなさい。それとも、あなたは世的な交わり、神を畏れず福音に従わない人を友として選ぶとしているのだろうか。サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1882 年 12 月 7 日

子供と青年にとって唯一の安全は神への愛と畏れである。彼らに、良い目的、規律正しい習慣、品性の高潔を奨励する証拠を示している人々を、友として選ばせなさい。聖書の真理を実践し、自分の歩む道に輝く光に従って歩く人々を、友として選ばせなさい。(ユース・インストラクター 1894 年 1 月 18 日)

もしあなたが広い見解と高貴な思想、また向上心を持ちたいのなら、正しい原則を強める交わりを選びなさい。あらゆる思想とあらゆる行動の目的を、来世、永遠の幸福を確保することに向けなさい。(ユース・インストラクター 1896 年 10 月 8 日)

交際する人を注意深く選ぶ

「イスラエルの子らにわたしの名をおきなさい。そしてわたしは彼らを祝福するであろう。」(民数記 6:27 欽定訳)

神の言葉は、成人した男女の場合においてさえ、交友の感化について非常に重きをおいている。まして発育盛りの子供や青年の頭脳や品性には、その力がどんなに大きいかわからない。彼らが交わっている友人や、彼らが獲得する主義や、彼らが形成する習慣は、地上にいる間の有用性と彼らの未来永遠の利害を決定する。……

不信仰な快樂主義に墮落した者と交わることによって、実に数多くの青年がクリスチャンの父母が注意深く教育し、熱心な祈りをもって育て守ってきた単純さと純真性と神を信ずる信仰を失い、自己犠牲の精神をなくしてしまう。……

広い見解をもち、無我の精神と高い希望をいだく男女は、通例、幼年時代における交際によってこうした性質を養った者である。イスラエルとのあらゆる関係において、神はつねにイスラエルの子供の交わりに警戒することが重要であることを強調された。子供を有害な友人から守り、ごく幼少のころから神の律法の中にある原則に親しませることを念頭において政治、宗教、社会生活のあらゆる制度が定められた。イスラエルの国家創立に際して与えられた実物教訓はすべての人の心に深い感銘を与える性質を持っていた。すなわちエジプト人の長子の死という、恐ろしい最後の刑罰が下る前に神はご自分の民に子供を各自の家庭に集めるように命じられた。そして、各家庭の門柱は血で塗られ、このしるしによって保証された保護の中に全員が宿ることになっていた。このように今日も神を愛し、畏れる親は「契約のつなぎ」、すなわち、キリストのあがないの血によって可能とされたきよい感化のうちにその子供を守らなければならない。(ミストリ・オブ・ヒーリング 371-373)

罪人の誘惑に同意しない

「わが子よ、悪者があなたを誘っても、それに従ってはならない。彼らの足は悪に走り、血を流すことに速いからだ。」(箴言 1:10、16)

不注意で向う見ずな人と交わるのは、キリストに従っていると公言する者にとって安全ではない。というのは、彼らがするように物事を見はじめ、イエスに従う者であるということが何を意味しているのかという意識をすべて失いやすいからである。特に次の点について自分自身を守りなさい。すなわち、あなたが知り合う必要があると思っている、神とのつながりを持たないその人々の言葉や行動に影響を受けたり、迷わされてはならない。(ユース・インストラクター 1894 年 7 月 5 日)

「わが子よ、悪者があなたを誘っても、それに従ってはならない」という神のみ声に聞き従いなさい。神のみ霊に支配されている人々は、自分の鋭敏な能力を目覚めたままにしておくべきである。神とお互いに対する誠実と忠実が、試みられる時がきているからである。自分を有利な立場におくために、わずかといえども不正を犯してはならない。あなたが他の人々にしてほしいと思うことを、大きなことと同じく、ささいな事においても、その人々にしなさい。「あなたがたはわが証人である」と神は言われる。あなたは神を代表して行動すべきである。幕を上げることができれば、全宇宙の住民が、誘惑されている人を非常な関心をもって見つめているのがあなたに見えるのだが。もしあなたが敵に屈しなければ、天では喜びがある。悪のそそのかしが初めて聞こえてきた時、ただちに天に祈りを捧げなさい。そして、神のみ言葉の中で宣言されている原則を勝手に書き換えようとする誘惑に強く抵抗しなさい。初めて誘惑を受ける時、同じ誘惑がくり返されることのないよう断固とした態度で接しなさい。あなたにあえて悪いことをするようそそのかす人から離れなさい。「私はあなたの影響力から離れなければなりません。あなたが私たちの救い主のみ足の跡に従っていないのを私は知っているからです」と言って、その誘惑者から、強く決心して離れなさい。

正しくない原則のもとに働き続けている人に、たとえあなたが一言も言うことができないと感じても、少なくともその人々のもとを去ることができる。あなたが身を引いて沈黙しているということが、言葉を出すよりもっと多くのことをなすことができる。……正しいことをする勇気を持ちなさい。(レビュー・アンド・ヘラルド 1899 年 5 月 9 日)

神を愛する人を生涯の伴侶とする

「ふたりの者がもし同意しなかったら、一緒に歩くだろうか」(アモス 3:3 欽定訳)

主は変わられることはない。……主は真実で、憐れみ深く思いやりがあり、約束においても警告においても、ご自分のみ言葉を忠実に実行される。今日神の民を取り囲んでいる最大の危険の一つは、神を畏れない者との交わり、特に不信心な者との結婚による結びつきである。多くの人にとって、人に対する愛は神に対する愛をしのぐ。彼らは神のはっきりとした戒めを、あえて無視することにより、逆戻りへの一步を踏み出す。そして大抵の場合結果は完全な背教となる。自分の意志を神のご要求に逆らわせることは、人にとって危険な事であることがつねに証明されてきた。けれども神が仰せになる事はその通りの意味であることを学ぶのは、人にとって簡単なことではない。神のみ心が何であるかを知りながら、キリストを拒み、神の律法を踏みじめる人々を自分の友や伴侶として選ぶ人々は、いつかは同じ思い、同じ精神になる。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881 年 5 月 19 日)

もし私たちが道徳上の最高点にまで上り、宗教上の品性の完全にまで到達したいのであれば、友情を形成し、人生の伴侶を選ぶにあたって、どれほどの識別力が必要であろうか。……

何の汚れもなく有望な人生をおくり始めた多くの人が、自分の限られた領域で、ソロモンがその高い地位にあつてしたように、結婚関係における誤った、取り返しのつかない一步を通して、自分の魂を失い、他の人を自分と一緒に滅びへと引きずり込んでしまう。……原則の深みを自分のものとしていない不真面目な伴侶は、一度は気高く誠実であつた人々の心を、むなしい墮落させる快樂、また徹底的な不道徳へと向かわせてしまう。健康改革者 1878 年 5 月

私たちは悔い改めない人の救いに深い関心を持ち、その人々に向かって親切と寛容の精神をあらわさなければならない。しかし、神の友だけが、私たちの友として選ぶのに安全である。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881 年 5 月 19 日)

気に入る数人ではなくたくさんの友

「友はいずれの時にも愛する、兄弟はなやみの時のために生れる。」(箴言 17:17)

同情は賢く与えられると良いものである。しかしその人が同情を必要としていることを知ったら、そうしなければならない。忠告と勧告を受け入れるということはどういうことであろうか。箴言 25:9 ～ 12 である。「隣り人と争うことがあるならば、ただその人と争え、他人の秘密をもらしてはならない。そうでないと、聞く者があなたをいやしめ…。おりにかなって語る言葉は、銀の彫り物に金のりんごをはめたようだ。知恵をもって戒める者は、これをきく者の耳にとって、金の耳輪、精金の飾りのようだ。」私たちが天へ向かって互いに助けあうために交際できる時、また、会話が神と天の事柄である時、その会話は価値がある。しかし会話が自己や世的なこと、また取るに足りない事柄に集中しているなら、沈黙が金である。従順な者の耳は謙遜に忍耐深く率直に譴責を受け入れる。そのような時のみ、私たちの交わりは、互いにとって有益であり、彼らに対する神のみ旨は成就する。これらの神の教えが成就する時、賢い譴責者は義務を果たし、従順な耳はその目的を聞き、それによって祝福される。(手紙 52, 1893 年)

私たちが形づくる交わりは、どれも制限はあるが、何かしら私たちに影響を及ぼす。私たちがその影響に屈する程度は、親しみの度合い、交際の長さ、自分が交際するその人に対する愛と尊敬の念によって決まる。(サイン・オブ・ザ・タイムズ 1882 年 12 月 7 日)

あなたの良い意志、無私の行為は気に入った数人のためではなく、交際するすべての人のためでなければならない。このようにすることによって、あなたはいとしく、いつまでも続く友を得る。あなた自身の行為があなた自身に反映するであろう。(ユース・インストラクター 1886 年 11 月 10 日)

社交的な関係を通して、キリスト教は世の人々と接触するようになる。天来の光を受けた者はだれでもみな、生命の光であられるキリストを知らない人々の道を照らすのである。(各時代の希望上巻 178)

イエスは兄弟よりも身近な友

「兄弟よりもたのしい友がある」(箴言 18:24)

あなたは落胆しても、よみがえって生きておられる救い主イエスが自分の贖い主、回復者であることを、いつも心に思っていなさい。このお方はあなたを愛しておられる。だから王たちと共に座って、イエスから離れてしまうよりもむしろイエスの愛を分かちあう方がはるかに良い。……

あなたを愛しておられるイエスのもとへ日々きなさい。あなたの心を進んでこのお方に開きなさい。このお方の内には落胆はない。あなたはの方以上に良い相談相手、もっと安全な導き手、より確かな弁護人を見つけることはできない。(手紙 1, 1896 年)

すべての試練を通して、……あなたには、「わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである」と仰せになった、決して失敗することのない友がおられる。(教会への証 2 巻 271)

しかし、主は他の人々との付き合いのために、また、価値のないもののために、なんとしばしば無視されることであろうか。……私たちはあえて自分の唇を通して、主のみ名を希望のないものとし、その愛と記憶を心の外に閉め出して消してしまっただけではない。「けれども」と冷たい形式主義の自称クリスチャンは言う、「これは、キリストをあまりにも人間としてしまうことになる。」しかし神のみ言葉は私たちがこの考えそのものを持つことを支持しておられる。私たちの主なる救い主イエス・キリストについての知識において、真の体験を非常に妨げているのは、キリストについてのこの実際的な明確な見方に欠けているからである。これが、多くの人が恐れ、疑い、嘆いている理由である。キリストと救いの計画についての彼らの考えはぼんやりとして、もの寂しく、混乱している。……人が自分の側にキリストのご臨在を必要とする時があるとしたら、それは今である。敵が洪水のように押し寄せてくる時、主のみ霊に、敵に対して旗を掲げていただくためである。(エース・インストラクター 1894 年 7 月 19 日)

キリストとの交わり、何と言葉に表わせない尊いことであろうか! 私たちが求めるなら、このような交わりを楽しむのは私たちの特権である。(サイン・オブ・ザ・タムズ 1882 年 12 月 7 日)

あなたが兄弟よりも頼もしい友を持つことができるという永遠の保証はあなたのものである。(教会への証 2 巻 271)

健康を増進する幸福な家庭の雰囲気

「主をおのが神とする民はさいわいです」(詩篇 144:15)

愛が宿り、愛の気持が顔つきやことばや行ないの中にあらわれているのが見いだされる家庭は、天使の喜んで住む場所である。……

愛ときげんの良さと幸福な満足感という日光をあなたがた自身の心の中に入れ、そのかんばしい影響を家庭の中へしみこませなさい。……このようにしてつくられた雰囲気は子供たちにちょうど空気と日光が植物の世界をいきいきさせると同じように、健康を促進し精神と肉体の活力を助長するであろう。(アドベンチスト・ホーム 485)

魂を、快活な感謝にみちたものとし、神が私たちを愛して下さったその大なる愛に対して感謝の念を表わすよう教育しなさい。……クリスチャンの快活さは聖潔の美そのものである。(ユース・インストラクター 1895 年 7 月 11 日)

悲嘆と心配はたった一つの悪も治すことはできないのに、大きな害を与えることができる。しかし快活さと希望は、それらが他の人々の道を明るくしている間、「それを得る者には命であり、またその全身をすこやかにするからである。」サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1885 年 2 月 12 日

母親は快活な、満足した、愉快的な性質を養うべきである。そのために払う努力はすべて、子供の肉体の健康と道徳的な性質の上に、豊かに報いられる。快活な精神はその家族の幸福を増進し、自分自身の健康をも増大する。(ミニストリー・オブ・ヒーリング 345,346)

青年の健康増進には、肉体の健康と均整のとれた品性の発達のために、運動と快活さ、そして彼らを取り巻いている幸福で感じのよい雰囲気が必要である。(クリスチャン教育の基礎 114)

神は私たちが光の子として、快活で、幸福な精神を養い、それによって私たちを暗闇から驚くべきみ光に招き入れて下さった方をほめたたえることを望んでおられる。(アドベンチスト・ホーム 492)

健康と幸福は労働による

「あなたの神、主はすべての産物と、手のすべてのわざとにおいて、あなたを祝福されるから、あなたは大いに喜び樂しまなければならない。」(申命記 16:15)

それがどれほど単純でつまらないものに思えても、自分に与えられた立場で最善を尽して、家庭の義務を忠実になしとげるなら、それはまことに向上させるものである。これには天よりの感化力が必要とされ、このことに平安と聖なる喜びがある。天来の感化にはいやす力がある。その感化は魂の傷、また体の苦しみでさえ、人に知られずに気づかないうちに和らげる。純潔で聖なる動機や行動からくる思いの平安は、体の全器官に自由な元気はつらつとした活力を与える。神に対する違反のない心の中の平安と良心は、露が柔らかい植物の上に降りるように、知性ある人を活気づけ、励ます。意志はその時正しく導かれ、支配されて、もつと明確になり、道理に反することをしなくなる。瞑想は、清められているので喜びを与える。あなたが持つことのできる静穏はあなたが交わるすべての人を祝福する。……あなたがこの天来の平安と思いの静けさを味わえば味わうほど、その平安は増していく。それは道徳力を麻痺状態に陥らせないで、増し加わる活動へと目覚めさせる、生命を吹き込む生き生きとした喜びである。完全な平安は天使が持っている天国の特質である。(教会への証 2 巻) 326,327)

子供たちと青年は、家庭の義務を忠実に果たして、母親の疲れた手と、心と頭脳の疲れを軽くしないかぎり、満ちたりた平安を感じることは決してない。……家庭の重荷の一部をになうことを怠る者は孤独と不平不満に悩む人である。彼らは、幸福な人とは、日々の雑務を分けあうから幸福なのであるという真理を学んでいないからである。(家庭の教育 352,353)

正しく指導された労働は、現世でつきまとうさまざまな試練に対処するために、人を強く強健で快活に、また幸福にするために必要なまさにそのものである。(家庭の教育 350)

戸外での健康と幸福

「主よ、あなたのみわざはいかに多いことであろう。あなたはこれらをみな知恵をもって造られた。地はあなたの造られたもので満ちている。」(詩篇 104:24)

戸外の生活から大人も子供も、純潔で誠実でありたいという願いを持つようになる。自然の偉大な薬効のある資源の、元気にし、よみがえらせる特性の影響力によって、体の機能は強められ、知性は目覚めて、想像力は活発になり、精神が活気づけられる。思いは神のみ言葉の美しさ感謝する準備ができる。(原稿 153, 1903 年)

きれいな空気は、その中に健康と生命を持っている。この空気を吸うと、体の全組織に活力を与える。(原稿 153, 1903 年)

自然の美そのものは、罪とこの世の魅力から離れ、純潔、平和、そして神へと向かうように魂を導く。この理由により、土地を耕すのは子供や青年にとって良い仕事である。この仕事は彼らを自然、また自然の神との直接の交わりに入らせる。……神経質な子供や青年に対して……この仕事は特別に効果的である。自然の研究には健康と幸福がある。そしてその仕事による印象は心のうちに消えてしまわない。その印象は、目の前に絶えずある対象物と関連しているからである。

自然界の中で、神はご自分のみ言葉の宝庫を開く鍵を、人の子らの手に置かれた。目に見えないものが、見えるものによって説明される。天来の知恵、永遠の真理、無限の恵みは、神が造られた事物によって理解される。……神は私たちの幸福を喜ばれるので、この世界を美しくされた。(両親、教師、生徒への勧告 186-188)

健康、快活、活発であって、よく発達した筋肉と頭脳を持つために、子供たちと青年はたくさん戸外に出て、よく調整された仕事や楽しみをするべきである。(両親、教師、生徒への勧告 83)

真の幸福は誇りとぜいたくにふけることにあるのではなくて、創造のみわざを通して、神と交わることにあるということである。(人類のあけぼの上巻 25)

生きた機械を保つことによって

「愛する者よ。あなたのたましいがいつも恵まれていると同じく、あなたがすべてのことに恵まれ、またすこやかであるようにと、わたしは祈っている。」(ヨハネ 第三 2)

自分の体を正しく扱うというのは、学ぶことのできる最も価値のある教訓である。私たちは頭脳労働だけをしたり、体を激しく動かすことだけをするのではなく、人の体を構成している脳、骨、筋肉、頭、心臓といったさまざまな器官を最もよく用いなければならない。(ユース・インストラクター 1898 年 3 月 31 日)

自分の体を正しく扱うというのは、自分自身と世に対して、また神に対しての義務全般にわたっている。このようにして、体力と精神力をバランスよく用いなさい。あらゆる行動にはそれを促す動機がある。だから、もし動機が気高く、純潔で無我でなければ、思いと品性は決してよく釣り合いがとれない。……

あなた方は、主が造られたので主のものである。そして主があなた方のためにご自分の命を与えてくださったので、贖いにより、この方のものである。……体のあらゆる仕組を守りなさい。あなたが神のためにそれを使うことができるためである。神のために守りなさい。あなたの健康は身体組織を正しく扱うかどうかにかかっている。神が与えてくださった体力、精神力、道徳力のどの部分も誤用してはならない。あなたの習慣はすべて、神のご支配のもとにある思いの支配下に入らなければならない。

もし青年男女がキリスト・イエスの完全なかたちにまで到達したいのなら、自分自身を賢く取り扱わなければならない。……あらゆる規則正しくない不健康な習慣、すなわち夜更かし、朝寝、あわただしい食事は正さなければならない。あなたの食物を完全に噛みこなしなさい。急いで食べることがあつてはならない。昼夜を問わずあなたの部屋をよく換気し、有益な肉体労働に従事しなさい。……あなたの能力を最も有益に用いて最高度にまで正しく用いることにより、またあらゆる器官を健康に保ち、気をつけて守ることにより、思いと腱と筋肉を調和して働かせることによって、私たちは神のために最も尊い奉仕をすることができる。(ユース・インストラクター 1898 年 4 月 7 日)

健康を保証する注意深い習慣

「主は言われる、『わたしはあなたの健康を回復させ、あなたの傷をいやす』」(エレミヤ 30:17)

思いが疲れ果てたり、弱まったりするのは勤勉な労働や熱心な研究の結果ではなく、適切でない時に食物を食べたり、健康の法則に無関心であつたりする結果である。……不規則に食事をしたり、睡眠をとると脳の活力を弱める。使徒パウロは、信心の高い標準に達したいと願う者は、すべてのことにおいて節制をしなければならないと宣言している。飲食、衣服はみな私たちの霊的前進に直接関係がある。(ユース・インストラクター 1894 年 5 月 31 日)

健康はほとんどの人が感謝していない祝福である。……多くの人は健康の法則を無視していつでも食べる。それにより、思いは憂うつになる。人々が自分の習慣にこれほど気を配らず、神がこれらのことに関して与えて下さった光に不注意であるなら、どうして神の啓発を受けることができようか。……生命は、聖なる委託物であつて、神だけが保たせることのできるものであり、ご自身の栄光のために、私たちが用いることのできるものである。そして体という驚くべき構造を形造られたお方は、人が神と異なる目的で働きさえしなければ、体を整然と保つよう特別の注意を払われる。(ビュー・アンド・ワールド 1912 年 6 月 20 日)

健康、生命、幸福は私たちの体を支配している身体の法則に従順な結果である。もし私たちの意志と方法が神のみ旨と方法に一致していれば、私たちが創造主の喜ばれることを行うならば、このお方は人の全存在を良い状態に保ち、私たちを通してご自身の栄光のために働くことができるようにと、道徳力、精神力、体力を回復される。……もし私たちがこの働きにおいて創造主に協力するなら、健康と幸福、平和と有益が確かな結果である。(SDA パイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 11 卷 1118)

このお方は私たちが悪い習慣の奴隷となるのではなく、神の息子、娘となって自分の全能力を用いて神に仕えるために、私たちのため死なれた。(家庭の教育 399)

愛する若い友よ、あなた方の習慣がすべて生命と健康の法則に調和するまで、一步一步前進しなさい。(ユース・インストラクター 1907 年 9 月 24 日)

私たちは内容的にも外面的にも 清らかであるべき

「わたしは清い水をあなたがたに注いで、すべての汚れから清め、またあなたがたを、すべての偶像から清める。」(エゼキエル 36:25)

神の御目に受け入れられるために、民の指導者は、戦争に出かける時であっても、イスラエル軍の衛生状態に厳格な注意を払わなければならなかった。軍隊の最高司令官から兵卒にいたるまで、あらゆる魂は自分個人と身の回りを清潔に保つよう厳粛に指令された。イスラエル人は神の特別の民として選ばれていたからである。彼らは体と精神が清らかであるようにと厳粛に義務づけられており、個人的な義務に不注意であったり、これを無視してはならなかった。あらゆる点において、清潔を保つべきであった。自分の身の回りにどのような乱雑も不健康も、また純潔な雰囲気汚すものも、何一つ許してはならなかった。(SDA バイブル・コメント [E・G・ホイト・コメント] I 巻 1119)

シナイからエホバ神によって語られた十戒は、秩序のない、汚れた習慣をもつ人の心に住むことはできない。もし古代イスラエルが、エホバの命令に従って、衣服を洗うまでは、聖なる律法の宣言を聞くことができなかったのであれば、個人的に、また衣服や住居においても清潔でない者の心に、どうして聖なる律法を書きつけていただくことができるだろうか。不可能である。(健康改革者 1872 年 2 月)

天国は清潔で聖なるところである。神は純潔で聖なるお方である。神のみ前に来るすべての者はこのお方の指示をよく心に留め、体と衣服を純潔に清潔に保って、自分自身と神に尊敬を払っていることを示さなければならない。心もまた清められていなければならない。これを行う者は、自分の心が汚れ、自分の衣服が乱れたままで神を礼拝することにより、その聖なるみ名を辱めることはない。神はこれらのことを見ておられ、ご自分を礼拝する人々の……心の準備、思想、清潔を記しておられる。(SDA バイブル・コメント [E・G・ホイト・コメント] I 巻 1119, 1120)

天使たちは神の民の表面にあらわれた事を見て印象を受ける。(手紙 35, 1901 年)

最善のを選んで祝福されたダニエル

「十日の終りになってみると、彼らの顔色は王の食物を食べたすべての若者よりも美しく、また肉も肥え太っていた。」(ダニエル 1:15)

青年は自分の心をまったく神の側におくことのできる立場に立たなければならぬ。その場にいることにより、彼らは力の限り神をあがめているのである。その時神は知識と知恵を与えることによって彼らにほまれを授けられる。バビロンの宮廷でダニエルはこのように行い、異教の墮落のただ中で原則に忠実に立った。「ダニエルは王の食物と、王の飲む酒とをもって、自分を汚すまいと心に思い定めた。」(ユース・インストラクター 1894 年 10 月 25 日)

ダニエルと彼の仲間は自分たちの決心の結果がどのようになるか分からなかった。しかし不道德なバビロンの宮廷にいても、厳格な節制というまっすぐな道を保つ決心をした。(ユース・インストラクター 1898 年 8 月 18 日)

バビロンにおけるダニエルとその仲間の模範により、主がご自分の子らに到達させたいと願っておられる基準に到達し、なおかつ原則をはずれて、状況に左右される、宗教の安易な順応しやすい部分がある程度実行するというのは不可能であることがわかる。天におられる神に仕えたいと願う青年は、世的な歓楽に没頭し、氣力を奪うぜいたくなものを食べ、世の権威ある人々あるいは富裕な人々が自分の前に供えたから、あるいはその人々の好意を拒むことにより、不快感を与えるという理由で、強い酒を飲むことはできない。彼らは自分たちが特別に名誉を受けたと考え、自分に提供された好意を受けることが礼儀であると考え、することもできる。しかし神に対する忠誠を最優先すべきであり、天におられる主に不快感を与えることを恐れる思いがクリスチャンを支配しなければならない。バビロンの王は、自分がダニエルとその仲間に非常に好意を示していると思っていた。しかし彼らは王の好意よりも神の戒めをもっと尊重した。……神はダニエルにほまれを与えられた。そしてこのお方は、ダニエルが神をあがめることにおいて取った方針と同じ方針をとる青年すべてにほまれを与えられる。(ユース・インストラクター 1894 年 10 月 25 日)

自分自身ではなく神の喜ばれることを選ぶ

「わたしをつかわされたかたは、わたしと一緒におられる。わたしは、いつも神のみこころにかなうことをしているから、わたしをひとり置きざりになさることはない。」(ヨハネ 8:29)

(キリスト) はそうすることを選ばれるなら、ご自身が造られた世界で、安楽にまた豊かに日々を過ごすことができ、世が与えることのできるあらゆる快樂と楽しみをご自身のために主張することもおできになった。しかしこのお方はご自身の都合を考えなかった。ご自分を喜ばせるためには生きないで、善を行い、他の人々に祝福を惜しみなく与えるために生きられた。(教会への証 3 巻 18)

義務の声に聞き従うつもりのない男女子供に、助けはない。義務の声は神のみ声だからである。男女が神の勧告に注意を払うのを拒み、自分自身を一番喜ばせる道を選ぶなら、目も耳も心も感動を受けられなくなる。(原稿 22, 1897 年)

自分の性向を喜ばせ、自分が工夫した計画を実行するために、神が与えて下さった場所から離れる男女は、失望に会う。彼は神の方法の代りに自分の方法を選んだからである。……

天父は私たちの統治者であられるから、私たちはこのお方の規律に従わなければならない。私たちはこのお方の家族の一員であるから、み父は私たちの奉仕に対して権利をもっておられる。……私たちは自分自身の方法のためにはではなく、神の方法と神のみ旨を知るために研究しなければならない。……人間は、神が従うようにと自分たちのために選んでくださった道からはずれて歩むので非常に苦しむ。彼らは自分たちが燃えたたせた火の粉の中を歩くので、その結果は確かに苦悩、不安、悲しみである。そしてそれらは、自分の意志を神に従わせるなら避けることのできたものなのである。……神が私たちのために選ばれる細道がどのようなものであろうとも、私たちの足のために定められた道がどのようなものであろうとも、それは唯一安全な道である。……信仰の目をもって、従順な子供のように純真な服従の心で、私たちは神を見つめ、その導きに従わなければならない。そうすれば困難は取り除かれる。「わたしはあなたを教え、あなたの行くべき道を示」すとのみ約束がある。(手紙 120, 1900 年)

イエスのみ名によってすべてのことを行う

「そして、あなたのすることはすべて、言葉によるとわざによるとを問わず、いっさい主イエスの名によってなし、彼によって父なる神に感謝しなさい。」(コロサイ 3:17)

主はすべての人が最善を尽すことを要求なさる。そして、最善を尽す人々は最大に個人的な満足を得るようになり、また彼らに関心を示す人々に最高の満足をもたらすようになる。青年は、自分たちが神の事柄に深い経験を必要としていることに気づく必要がある。単なる表面的な働きは何の益もない。あなたは神のみ言葉を、明るいローソクで調べるができるように、そのみ言葉の光を心の中に入れる必要がある。

あなたが誰かと交わる時、天よりの感化で自分自身を包むなら、互いに助けとなり祝福となれる。しかし重大な欠点、すなわちそのままにしておく神のみ霊を心から追い出してしまう欠点を持っている人がいる。……聖書の宗教は多くの他の感化のうちの一つではなく、その感化は最高であり、他のあらゆる感化に満ちわたり支配している。聖書の宗教が生活と行いの上に支配力を及ぼすべきである。キャンパスの上のそこかしこにざっと色を塗りつけるようなものではなく、布地の糸一本一本が深くあせない色落ちのしない色に染まるまで、染料の中につけ込まれたかのように、その感化は生活全般にゆきわたる。あなたが実際に役立つ聖書の真理をすべて生活の中で実行する時、主はあなたにその真理をすべて理解させて下さる。真理の原則は日々の事柄における実際上の経験の中で実行されるべきである。(ユース・インストラクター 1895 年 5 月 30 日)

日常生活のささいな義務においても私達はクリスチャン品性を形造る事において成功するようにご自分の命を与えて下さった方から出る気高く清い動機のもとに恵みによって絶えず成長するのである。(両親、教師、生徒への勧告 490)

キリストの宗教が働くところはどこでも、生活のあらゆる細かい点においてすら、地上の喜びや平安よりも明るく気高い平安をもたらす。(手紙 2a 1892 年)

喜びとなるレクリエーション

「しかし、すべてあなたに寄り頼む者を喜ばせ、とこしえに喜び呼ばわらせてください。また、み名を愛する者があなたによって、喜びを得るように、彼らをお守りください。」(詩篇 5:11)

義の敵は人生のあらゆる状況に即したあらゆる種類の快楽を、青年のために用意している。そしてその快楽は混雑した都会だけではなく、人の住む所にはどこにでも提供されるのである。サタンは青年を自分の隊列に兵士として確保したがつている。サタンの勢力は自分がどのようなもので対処すべきがよく知っているので、イエス・キリストから自分の愛情を引き離す青年のために工夫をこらした習慣や快楽で、地獄の知恵を誇示してきた。社会のさまざまな娯楽は、これらの魅力に捕らわれなければ、従順な子供であり、両親に対して礼儀正しく、仕事においても品性においても正直で純潔、また気高かったはずの何千、何万という青年を滅びに陥れた。(ユース・インストラクター 1887 年 1 月 5 日)

キリストは自分の遊びや不真面目な娯楽に夢中になっている集まりの中へ来られるべきだろうか。「この家に平安があるように」と仰せになるみ声の厳肅なメロディーが祝福として聞こえるのだろうか。世の救い主はこのようなお祭り騒ぎや愚かな行為の光景を、どうやって楽しめられるというのだろうか。(レビュー・アンド・ハラルド 1874 年 10 月 13 日)

自尊心と野心はあくことを知らない。しかし真に賢明な者は、神がすべての人の手の届くところにおかれた喜びの源泉から、実質的で高尚な楽しみを見いだすのである。(人類のあけぼの上巻 25)

体力と知力とを神の栄えのために用いることができるように、無邪気なレクリエーションによって精神を新たにし、身体を元気にすることはクリスチャンの特権であり、また義務である。私たちのレクリエーションは、ばかげた種類の思慮のない娯楽であってはならない。私たちの交わる人々の益となり、彼らを向上させ、クリスチャンとして私たちの上に負わされている義務をもっとよく果たすのにふさわしい者となるような方法でレクリエーションを実行することができる。……キリストの宗教はその感化で人を向上させ励ます力を持っている。(青年への使命 366)

思いを高尚にする良い書物

「朗読する者……はさいわいである」(黙示録 1:3)

私たちは聖書を用いて、家庭の中で、ためになる興味深い話を読むことを実践した。そして子供たちは、私たちがこのように彼らを楽しませた時はいつも幸福だった。このようにして私たちは、若い友達と外に出たいという落ち着かない願望を引き止め、同時に堅実な読物に対する嗜好を、子供たちのうちに養い育てた。……「預言の霊」をあらゆる家庭に置き、家庭で声を出して読むべきである。……教会への証は両親と子供たち双方にとって、あらゆる場合に対処する教訓を含んでいる。これを家族全員に対して、声を出して読むべきである。そうすれば両親同様子供たちもその勧告、警告、譴責によって益を受ける。……聖書を読み、知識を分け与え、正しい原則を説き聞かせる他の興味深い本を読むために、時間を充てなさい。家族の他の者が有益な仕事にたずさわっている間も聞くことができるように、声を出して読むのが一番上手な読み手を選びなさい。家庭でこのような夕べは楽しく有益なものとなる。(レビュー・アンド・ワールド 1882 年 12 月 26 日)

子供たちには、楽しみとレクリエーションを与え、思いを混乱させず、体を疲れさせない、適切な読物が必要である。(レビュー・アンド・ワールド 1879 年 12 月 11 日)

ほとんどの子供や青年は読物を持つようになる。だからもし彼らのために読物を選ばなければ、彼らが自分自身のために選ぶ。彼らはどこでも、破滅を招くような質の読物を見つけることができる。そしてすぐにそれを好きになる。しかし、もし純潔で良い読物が彼らに与えられるなら、その読物に対する嗜好を養い育てるのである。(レビュー・アンド・ワールド 1879 年 12 月 11 日)

正しいことを行うということを実践することにより、低い、安っぽい無秩序なものに対して、嫌悪感が心の中に生ずる。(ユース・インストラクター 1894 年 1 月 18 日)

純潔で健全な読物は、健康によい食物が体に必要であるように、思いに必要である。あなたはこのようにして誘惑に抵抗し、正しい習慣を形成して、正しい原則に従って行動するために、より強くなる。(レビュー・アンド・ワールド 1882 年 12 月 26 日)

祝福となる良い音楽

「喜びをもって主に仕えよ。歌いつつ、そのみ前にきたれ。」(詩篇 100:2)

家庭で、美しい純潔な歌が歌われるとき、人をとがめだてる言葉は少なくなり、快活さと希望と喜びの言葉が多くなる。……宗教的な行事の一部として、歌を歌うことは祈りをささげることと同様に礼拝の行為である。事実大抵の歌は祈りである。(教育 198)

真理を信じていると公言する若い男女の軽々しい言動を目にする時、私は不安になる。……彼らは音楽に対して敏感な耳をもっているため、サタンは、キリストを願い求めないようにするために、思いを活発にし、夢中にさせ、操るために、どのような器官を興奮させるべきかを知っている。……青年は軽く考えているが、厳粛な責任が彼らの上に置かれている。彼らの家庭に入り込む音楽が、神聖さと霊性を励ます代りに、真理から彼らの思いをそらす手段となっている。現代の軽薄な歌や人気のある音楽は彼らの好みに合っているように見える。楽器が、祈りに捧げられるはずの時間をとっている。音楽は乱用されなければ大いなる祝福であるが、誤って用いられる時には恐ろしいのろいである。(教会への証 1 巻 496,497)

あなたが音楽の技術について訓練と教育を受けていて、なおかつ新しい歌を学んだことがないのであれば、何を学んだのであろうか。あなたが主の家族の一員、神の息子娘となるために適切な訓練を受けていないとしたら、この訓練はすべて何になるのであろうか。(ユース・インストラクター 1893 年 8 月 3 日)

救い主が内住しておられない者は、人の思いを神と天国から、軽々しいつまらない事柄へと引き寄せる楽器のしらべによって、他の人々の前で救い主を辱める。(教会への証 1 巻 510)

音楽は神聖な目的に奉仕し、純潔で高尚な思いを高め、魂の中に神への献身と感謝の念を目覚めさせるために作られたものである。(青年への使命 291)

この世で主の軍勢の働き人たちが賛美の歌を歌う時、天の聖歌隊は神と御子に対する感謝と賛美の念をもって、彼らに和する。(教会への証 7 巻 17)

すべての会話に聖潔を

「あなたを召して下さった方が聖であられるように、あなたがたもあらゆる会話において聖なる者となちなさい。」(ペテロ第一 1:15 欽定訳)

心が純潔で洗練されており、聖霊の内住にふさわしくなっていれば、舌は神の栄光のために清められる。……あなたは自分の魂を、天にあるエデンの国から吹くそよ風のような雰囲気の中で包むことができる。あなたの心を主イエスに対して開き、舌を守りなさい。あなたの舌に冗談やからかいを手当たり次第に言わせてはならない。これらはあなたの心が汚れから清められる必要があることを示すしるしである。……

私たちの言葉は自分の心の状態を表わす。だから人の語る言葉が多くても少なくても、その言葉はその人の思想の性質を表明する。人の品性はその人の会話の性質によって、ほとんど間違いなく判断できる。健全な信頼に足る言葉には、その内に本物の響きがある。(ユース・インストラクター 1895 年 6 月 13 日)

あなた自身がいつも楽しい顔つきをし、あなたの声にできるだけのと柔と美しい調子とをもたせるように自らを教育しなさい。(アドベンチスト・ホーム 493)

声と舌は神からの賜物である。だから正しく用いるなら、それらは神のための力となる。音楽は非常に多くの意味を持つ。神に対する愛や献身、賛美や快い調べを表わすことができるが、憎しみや仕返しも表現できる。言葉は心情を表わし、命から命に至らせる香りともなり、死から死に至らせる香りともなることができる。舌は非常に大きな祝福であるが、しかし非常に大きな罪悪でもある。

ある人々は神との日毎の交わりから、キリストの柔和をまといて現れるように思える。彼らの言葉は、その前にあるあらゆるものを砕くわびしいひょうのようなものではなく、その唇からは思いやりのある言葉がでる。彼らは自分の歩む道一面に愛と親切の種をまき散らす。そしてすべてのことを無意識のうちにを行う。キリストが心のうちに住んでおられるからである。彼らの感化は目に見える以上に影響を与える。SDA パイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 3 巻 1159)

親切で優しく思いやりのある言葉は、清められた心と唇からあふれ出るのである。(手紙 15, 1892 年)

礼拝と休息の幸福な安息日

「六日の間は仕事をしなければならない。第七日は全き休みの安息日であり…どのような仕事もしてはならない。これはあなたがたのすべてのすまいにおいて守るべき主の安息日である。」(レビ記 23:3)

神が私たちのどんなものを要求なさろうとも、神はそれをご自身の栄光で豊かにし、形をかえて、ふたたび私たちの手にもどしてくださるのである。……

安息日と家庭は同じようにエデンにおいて定められ、神の目的の中にあって切っても切れない密接なつながりを持っている。この日には他の日よりも特にエデンの生活を送ることができる。家族の者たちが、父親を家庭の祭司とし、また、父と母とを子供たちの先生とし友達として、働きに、勉強に、礼拝に、レクリエーションに、ともに交わることが神のご計画であった。しかし罪の結果、生活状態は一変し、この交わりはおおかた妨げられてしまった。父親は一週の間子供たちの顔をほとんど見ないことが多い。父親が子供たちの相手をしたり子供たちに教えたりする機会は全然ないと言ってもよい。しかし神の愛によって、労働の必要は制限されている。安息日の上に神は慈愛のみ手を置かれている。神は、ご自身の日に、家族の者が神と交わり、自然と交わり、またお互いに交わる機会を保存されている。

安息日は創造力の記念であるから、他のどんな日よりも、神のみわざを通して神を知る日でなければならない。……自然という書物の開かれたページから実例を引いて神のみ言葉である聖書を子供たちに教え、新鮮な清い大気の中で緑の木陰に集まって、天の父なる神のみ言葉を学び、賛美の歌をうたうことのできる父母は幸福である。

このような交わりによって、親は決して切れることのないきずなによって子供たちを自分の心に結びつけ、ひいては神に結びつけることができる。(教育 296,297)

安息日が私たちの家族にとって非常に興味を引き起こすものとなるべきである。それによって毎週の安息日を喜んで迎えるようになるからである。(教会への証 2 巻 585)

神が送られる光を受け入れる

「あなたの光とまことを送ってわたしを導き、あなたの聖なる山と、あなたの住まわれる所にわたしをいたらせてください。」(詩篇 43:3)

主イエスは、憐れみと命と光に満ちて、ご自分に来るべき者を救う用意をしてこの世に来られた。しかしこのお方は人の意志にさからって救うことはおできにならない。神は良心に強制はなさらない。またご自分の律法に人が従うようにと強制的に苦しめたりもなさらない。このような働きはすべてサタンの方法である。
.....

主は罪人に、神との協力という特権を申し出られたことを明らかにされた。このお方は光を与え、真理の証拠を提供される。ご自分の要求が何であるかを明らかにし、罪人が真理を受け入れ、あらゆる状況に応じることができる恵みと力を受けて、自分の贖いの価を支払ってくださったイエス・キリストに心から奉仕することによって、休息を見出すかどうかを、本人におまかせになる。もし罪人がためらって、自分の思考力にまで達し、魂を感動させた光に感謝しないで、神に服従することを拒むなら、光はほの暗くなってだんだん力を失い、ついには彼の視界から消えてしまう。最初の光線を認めるのに失敗する人は、真理のもっとはっきりとした証拠に注意を払おうとしない。もし神の優しい訴えが罪人の心に応答を得られないならば、彼の思いにまで達した初めの印象はその重要性を失い、ついに彼は暗闇の中に取り残される。招待は愛に満ちている。光は初めに罪人の魂を照らした時と同じように、彼が最終的に拒む時も明るい。しかし光を拒むことによって、彼の魂は暗闇におおわれ、光を拒むことの危険がどのようなものであるか分からなくなる。キリストはそのような魂に「もうしばらくの間、光はあなたがたと一緒に……ある」と仰せになる。(ユス・インストラクター 1893 年 8 月 17 日)

今日あなたの召しと選びを確かなものにしなさい。ペテロは世にある最善の生命保険証書の写しを与えて、「恵みと平安とがあなたがたに豊かに加わるように……いのちと信心とにかかわるすべてのことは主イエスの神聖な力によって私たちに与えられている」と言っている。(ユス・インストラクター 1893 年 12 月 7 日)

神の知恵

「知恵は宝石にまさり、あなたがたの望むすべての物は、これと比べるにたりない。」(箴言 8:11)

アダムとエバが禁じられた木に決して触れなかったなら、主は彼らに知識、すなわち罪ののろいに基づかない知識、彼らに永遠の喜びをもたらしたはずの知識を分け与えるおつもりであった。自分たちの不従順によって得た知識は、罪とその結果についての知識だけであった。……

各時代を通して、人の好奇心は知識の木を探し求めるよう彼らの心を導いた。そして彼らはしばしば自分たちが最も本質的な実を摘んでいると考える。ソロモンの探求のように、彼らは、自分たちのために神の都の門を開ける真の聖潔という科学に比べて、それがまったくむなしい、無に等しいものであることを発見する。人間の野望は自分に栄光、自己高揚、優越をもたらす種類の知識を求めてきた。このようにしてアダムとエバは神の拘束が真つ二つに折れるまでサタンに働きかけられ、うそをつく教師のもとでの教育が、神の拒まれた知識を彼らが持つために始まった。(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 1 巻 1083)

真の知恵は永遠に続く宝である。世で賢人と呼ばれる人の多くは、自分自身の判断で賢いだけである。世の知恵を得たと自慢しても神の聖なるみ言葉に含まれている知識の宝を知るようになるために、神の国に入ることは決してない。自分が賢いと思うことによって、彼らは永遠の命を得るすべての者が持たなければならない知恵に関して無知になる。……教育を受けてなくても、人が神とイエス・キリストを知っていれば、神の教えを軽蔑する、最高の教育を受けた者よりも不朽の知恵を持つ。(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 3 巻 1156)

神の知恵があなたの足のとしびでなければならない。……ふるうことのできるものはすべてふるわれる。しかし真理に根ざし、基づくことによって、あなたは揺り動かすことのできないもののそばにとどまる。(ユース・インストラクター 1893 年 2 月 2 日)

真の麗しさ

「われらの神、主の麗しさを、われらの上にくだし、」(詩篇 90:17 欽定訳)

すべてのことにおいて、实际的であるよりは感情に流されるというのが生来の傾向である。この事実から考えて、子供たちの教育において、両親は彼らの思いを、真理、義務、克己を愛し、たとえ大多数の人が間違ったことを選んで、正しいことを選ぶために気高い独立心を持つようにと、導き訓練しなければならない。

.....

彼らが健全な性質と優しい気質を持ち続けるなら、神の恵みによってまとうことのできる真の麗しさを自分のものとする。そうなれば、人工的なもので飾る必要はないのである。人工的なものは、真の道徳的価値という飾りが心の内にないことを常にあらわすからである。美しい品性は神の御目に価値があり、そのような麗しさは人を引きつけ、誤り導くことはない。そのような魅力は色あせしないで決して衰えることがない。

イエスの純粋な宗教は従う者に、人工的なもの、うわべだけのものよりもむしろ、自然の美の単純さ、自然の上品さや高められた純潔の優美さを要求する。(家庭の教育 p424)

決して朽ちることのない飾り、この世で私たちの周りのすべての人に幸せを引き起こし、不死の未来にはつきりと輝き出る光で輝く飾りがある。それは柔和と謙遜な精神という飾りである。……キリストの麗しさに比べる時、金や真珠また高価な品々はどれほど価値のないものであろうか。自然の素晴らしさはそれぞれに他のものと釣り合って、また調和して存在する。しかし霊的な麗しさは、私たちの魂がイエスに調和するか、似ていることによる。このことは、この品性を持っている者を、精金よりも、オフルのこがねよりも尊いものとする。キリストの恵みは本当に価のつけられない尊い飾りである。その恵みは、この飾りを持つ者を高め、気高くし、また他の人々を光と祝福の源である方に引きつけながら、その人々に栄光の光線を反映する。(家庭の教育 423,424)

正直

「わたしたちは、主のみまばかりではなく、人の前でも公正であるように、気を配っているのである。」(コリント第二 8:21)

あらゆる仕事上の取引において、私たちは光をはっきりと輝かせなくてはならない。ずるい取引きをしてはならない。あらゆることが厳密な高潔さをもって行われるべきである。ずるい取引きでわずかのお金を得るよりは、財政上いくらか失う方が良いのである。私たちは公正な取引きで最終的に何も失うことはない。私たちはこの世で神の律法に従って生き、品性を神のかたちにしたものへと完成しなければならない。すべての実業は、信仰を持っている人々とであっても、信仰を持っていない人々とであっても、公明正大で正しい原則に基づいて行わなければならない。あらゆることを神の律法の光に照らして見るべきであり、不正手段や二枚舌、策略の気配すらなくすべてのことを行わなければならない。(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 3 巻 1158)

アカンは、バビロンの上着と金や銀で作ったつまらない宝のために、自分自身を悪魔に売り渡し、自分の魂に神ののろいをもたらし、カナンでの豊かな領土への権利を失い、新地における来たるべき永遠の嗣業についてのあらゆる可能性を失うことに同意した。彼は本当に不正利得のために恐ろしいほどの価を支払ったのである。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881 年 5 月 5 日)

現代の悪い世で、正直に正しく取引きをしなさい。ある人々は世的な利害を損なわないと思う時に正直であるが、この原則に従って行動する者は自分の名前を命の書から消してしまう。

厳格な正直さを養わなければならない。私たちは一度しかこの世を生きることはできない。どのような過ちを正すためにも後戻りはできないのである。だからあらゆる行動が信心深い畏れと注意深い考え深さをもってなされるべきである。……

神がご自分の宝を集められる時、真実な者、率直な者、正直な者は神の選ばれた者、その宝となる。天使たちはそのような人々のために冠を準備しており、神のみ座からの光がこれらの星のように輝く王冠から輝きを反射させるであろう。(レビュー・アンド・ヘラルド 1896 年 12 月 29 日)

慎み

「慎みはあなたを守り、悟りはあなたを保って、」(箴言 2:11)

あなたのよく選んだ言葉とそれに調和する行動により、また礼儀正しさと熱心な敬神によって、あなたの信仰を告白する者となり、それによって魂の宮にキリストが座を占めてくださるよう決心していることをあらわしなさい。そしてあなたのタラントを、キリストの奉仕に用いるために、その足元に惜しみなく置きなさい。……どのような誘惑も、どのような事柄も、神をうやまうことからあなたを動かすことがないように、これらのことをあなたの人生の原則としなさい。(ユース・インストラクター 1893 年 2 月 2 日)

墮落の兆候を示しているこの享樂的な時代に、あなたは用心して立っていないければ安全ではない。徳と謙遜はまれである。キリストに従う者として、喜びに満ちた告白をしつつ、謙遜という尊い価値のつけられない宝石を大切にするようにとあなたに懇願する。このことは徳を守る。(家庭の教育 417)

心の聖潔は、不純な行動へと導かない。……天に起源を持つ真理は受け入れる人の品位を決して下げることはない。……それどころか信じる者を清め、その嗜好を上品にし、高尚にまた気高くし、イエスとの密接な交わりに入らせる。自分にとって「良い事が、そしりの種に」、できるだけならないように、外見ですら悪を避けるようにという、使徒パウロの命令に注意を払うようにその人を導く。

これが、私たちの注意を払わなければならない事柄である。私たちはこの墮落した時代の罪を警戒しなければならない。必要以上の親しさを感じさせるあらゆることに、私たちはかかわってはならない。神はこのことを責められる。これは禁じられた領域であり、その上に足をのせるのは安全ではない。すべての言葉と行動は品性を高め、練り、気高くするものとならなければならない。(教会への証 5 卷 593,594)

私の良い名前は金や銀よりも私にとってはるかに価値のある資本である。この良い名前を汚れていないまま保たせてほしい。もし人々がその名を激しく攻めるなら、それは私が彼らにそうする機会を与えたからではなく、彼らがキリストについて悪口を言ったのと同じ理由、すなわち彼らがキリストのご品性の純潔と聖潔を憎んだことによる。なぜならこのお方の品性は彼らにとって絶え間ない譴責だったからである。(教会への証 5 卷 595)

人生における最善のものを選んだヨセフと 選ばなかったサムソン

「すなわち、自分の肉にまく者は、肉から滅びを刈り取り、霊にまく者は、霊から永遠のいのちを刈り取るであろう。」（ガラテヤ 6:8）

肉欲にふける誘惑ほど若い男性にとって危険であり、また致命的な誘惑はない。またこれに屈服するなら、現世と永遠のために、魂と体に破滅をもたらすことをこれほどはつきりとは誰も証明できるものはない。彼の将来の幸福は完全に一瞬の決定にかかっている。ヨセフは静かに助けを求めて天へ目を向け、ゆるい上着を滑り落とし、誘惑者の手にこれを残す。その間彼の目は汚れた情欲の場所にあつて、堅い決意で輝いていた。「どうしてわたしはこの大きな悪をおこなって、神に罪を犯すことができましょう」と彼は叫ぶ。勝利は得られる。彼は魅惑する者から逃れ、救われる。（SDA バイブル・コメント [E・G・ホイト・コメント I] 卷 1097）

危機の時サムソンはヨセフが持っていたのと同じ力の源を持っていた。彼は自分の好むままに正義でも悪でも選ぶことができた。しかし神の力強さをつかむ代りに、彼はその性質の荒々しい情欲が完全に支配するのを許した。思考力はゆがめられ、道徳が乱れた。神はサムソンを、大いなる責任とほまれと有用性のある立場に召しておられた。しかし彼はまず神の律法に従うことを学ぶことによって、自分を抑制することを初めに学ばなければならなかった。……自分が自分自身にもたらした誘惑……のもとでサムソンは情欲へのたづなをゆるめた。彼が入りこんだ道は恥と完全な失敗、そして死に至ることが分かった。ヨセフの歴史とは何と対照的であろうか。（サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881 年 10 月 13 日）

すべての者は、さらされるわなのただ中で頼るべき、力強い、信頼できる保護者を必要とする。……恵みの盾は、最も堕落させる影響力に取り囲まれていても、敵の誘惑に打ち破られないすべての者を守ることができる。堅い原則により、また神への確固たる信頼によって、彼らの徳と品性の気高さは輝くことができ、悪に取り囲まれていても彼らの徳や高潔さにしみを残す必要はないのである。（霊的賜物 3 卷 145,146）

よりよい嗣業

「あなたがたのために天にたくわえてある、朽ちず汚れず、しぼむことのない資産を受け継ぐ者として下さったのである。」(ペテロ第一 1:4)

神に対する私たちの嘆願は、利己的な願いに満たされた心からおこるべきではない。神はご自分の栄光へと戻ってくる賜物を選ぶよう、私たちに忠告される。神は私たちにこの世のことではなく天のことを選ばせたいと思い、天の霊的交わりの可能性と特権を私たちの前に公開される。神は私たちの最も高遠な目標に励ましを与え、最上の宝に保証を与えられる。世的な財産が奪われる時、信者は自分の天にある宝、地上のどのような災害によっても失われることのない富を喜ぶ。(ビュー・アンド・ヘラルド 1898 年 8 月 16 日)

人が永遠の嗣業に背を向けて離れ、自尊心を満足させるために、また利己心や見せびらかしのために生きて、サタンの支配に服従することにより、この世と来たるべき世の両方で持つことのできる祝福を失うというのは、何と悲しいことであろうか。彼らは天の宮廷に入り、キリストと聖天使たち、また神の王子たちと共に、自由にまたひとしく交わることができる。それであるのに信じられないことに、彼らは天国の魅力に背を向けるのである。……

サタンは人の魂を求めて戦っている。……彼は人々が、天の住民となる者のために用意されている将来のほまれや永遠の栄光をひとめでも見たり、天での幸福の前ぶれを与える経験を味わうのを喜ばない。……

キリストを自分の救い主として受け入れる者は、現在ある生命と来たるべき世での生命について約束を得る。……キリストの最も小さい弟子も、天の住人となり、朽ちずしぼむことのない資産を受け継ぐ神の相続人となることができる。ああ、あらゆる人が天の賜物を選び、その資格がいかなる破壊者からも守られる嗣業、終わることのない世界、その世界を受け継ぐ神の相続人になると良いのに。(クリスチャン教育の基礎 234,235)

Good Way Series 研究 3-1



キリストが 戸をたたいておられる (I)

聖書も預言の霊も、天の光を拒むことによって、三重のメッセージ（黙示録 14 章）を主に委託された民として、わたしたちは自らを望ましくない立場に置くことになります。

聖書はわたしたちに次のように訓告しています：

「あなたは、自分は富んでいる。豊かになった、なんの不自由もないと言っているが、実は、あなた自身がみじめな者、あわれむべき者、貧しい者、目の見えない者、裸な者であることに気がついていない」（黙示録 3:17）。

預言の霊は次のようにわたしたちに警告しています：

「ユダヤ教会のうちに見られた同じ不従順と失敗が、より大きな度合いで、最後の警告のメッセージのうちに天からのこの大きな光を受けてきた民を特徴づけている。」（教会への証 5 巻 456）

この状況をいやすために、主は必要な処方をもわたしたちに送ってこられました。このお方は次のように言われます：

「そこで、あなたに勧める。富む者となるために、わたしから火で精錬された金を買ひ、また、あなたの裸の恥をさらさないため身に着けるように、白い衣を買ひなさい。また、見えるようになるため、目にぬる目薬を買ひなさい。すべてわたしの愛している者を、わたしはしかったり、懲らしめたりする。だから、熱心になって悔い改めなさい。見よ、わたしは戸の外に立って、たたいている。だれでもわたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしはその中にはいって彼と食を共にし、彼もまたわたしと食を共にするであろう」（黙示録 3:18-20）。

この天来の勧告、すなわち改革のメッセージは、わたしたちに特に 1888 年以来強く呼びかけてきました。主の僕は次のように説明しています：

「わたしたちの贖い主は、ご自分の民に証を担うためにご自分の使命者たちをつかわされる。このお方は次のように仰せになる『見よ、わたしは戸の外に立って、たたいている。だれでもわたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしはその中にはいって彼と食を共にし、彼もまたわたしと食を共にするであろう』（黙示録 3:20)。しかし多くの人々はこのお方を受け入れることを拒む。聖霊は心をやわらげ、抑制するのを待っている。しかし彼らは戸を開いて、救い主に入っていただくことに気が進まない。なぜなら、このお方は彼らから何かを要求なさることを恐れているからである。そしてナザレのイエスはそばを通り過ぎられる。このお方は彼らにご自分の恵みという豊かな祝福を授けたいと切望しておられる。しかし、彼らはそれらを受け入れることを拒む。キリストを彼ご自身の宮から追い出すということは、なんと恐ろしいことであろう！教会にとって、なんとという損失であろう！」（教会への証 6 巻 262 (1900 年)）。

まことの証人の勧告が指導者たちによって無視され続けているため、このお方はついに、区別なく、リバイバルと改革の働きにおいて聖霊に用いていただきたい人にはだれにでも召しを呼びかけられます。ホワイト姉妹は次のように記しています：

「明確な理解力をもった人が必要とされている。神は徹底的な改革の働きにおいて前面に出るために、聖霊によって支配されることを望む人々を召しておられる。わたしはわたしたちの前に危機を見る。そして主はご自分の働き人たちが隊列につくよう召しておられる。すべての魂は今、過ぎた数年よりも深く真実な神への献身の立場に立つべきである。…わたしは最近夜のうちにわたしの前を通り過ぎた光景によって深く印象づけられた。多くの場所で大きな運動ーリバイバルの働きーが進んでいるように見えた。わたしたちの民は神の召しに答えて、隊列のうちへ向かって動いていた。」（牧師への証 514, 515 (1913 年)）。

ホワイト姉妹が幻のうちに示されたように、この最後の召しにいくらかの人々は注意を払うのでした。事実、黙示録 18 章の天使の光は、多くの場所でリバイバルと改革を生じさせる運動において、「力と強さを」第三天使のメッセージに与えてきました。歴史はこの運動が 1914 年に開始したことを明らかにしています。

わたしたちは改革の働きには「時代にわたって」、「著しい共通性」があると教えられています（各時代の争闘下巻 35）。わたしたちにとって、次の類似性は重要です。初期のクリスチャンたちは、最初にユダヤ教会から許可を得ることなく、

神の召しに従いました（使徒行伝 26:19 参照）。ですから、わたしたちはたとえ宗派の指導者たちの同意や認識がなくても、自分たちの理解の最善に従って神の召しに応える権利がある、否、義務があると信じています。

この研究では、研究 1 で簡潔に論じた二つの点を詳述するのが目的です。

研究 1 黙示録 18 章の天使と 1888 年のメッセージ。二つの点は次になります。

(1) 光(1888 年) を拒んだ結果、そして(2) 黙示録 18 章の天使の現在の働き。

次回以降、上記を見ていきます。

になりました。

ですから、このお方が特別にご自分の愛するアダムとエバにもうけられた園の家庭は、どれほど栄光にみちたものであったことでしょう！わたしたちは、ただ今日知って楽しむすばらしい自然界のことを考えて、園の見事なさまを想像することができるだけです。

神さまが彼らに宮殿を建てて下さったのではないことに注目しましょう。このお方が彼らを世界の王と女王にして下さったのにもかわらずです。このお方は彼らのために何かきれいな大理石の床や電気のある石の家を建てられたのではありませんでした。このお方がふんだんに彼らに金銀を与えておられたにもかわらずです。その代わりにこのお方は木々や花々の中に家を造ってくださいました。

この家のかべは、やしの木やモミの木、またカエデでした。そして床は豪華にブルーベル、マリーゴールド、サクラソウでおおわれたやわらかく良い香りのする大地でした。屋根のためには、木々の広がる枝、そしてその向こうには栄光にかがやく天の丸天井があり、昼は太陽が光を、夜は月と星が光をなげかけていました。

そこには避け場は必要がありませんでした。なぜなら、世界がうまれたはるか昔のその当時、雨もあらしもなかったからです。その代わり、「地から泉がわきあがって土の全面を潤していた。」

人の最初の家にはわたしたちが考えるような寝室はありませんでした。ただかん木の間にコケにおおわれたこちよい奥まった場所や、流れの音が聞こえる小川のそばに花が咲きひろがっている長いすがありました。その居間は、うっとりするような岸边、あるいは湖の入り江の砂地を見渡せる丘でした。その音楽室は木々の間にあり、鳥たちがそのうるわしい歌声をふるわせていました。その台所と食料庫は、実をたわわにつけたぶどうの木やいつも食べるのによいものを豊かに実らせているかん木でした。

ブロッコリーのガーリックソテー

■材料

ブロッコリー	500g
にんにくのみじん切り	2 かけ分
赤パプリカ	1/2 個
オリーブ油	大さじ 5
塩	小さじ 2/3

■作り方

1. ブロッコリーは、小房に分ける。塩小さじ 1/3 を入れた熱湯で色が鮮やかになるまでゆで、ざるに上げて水けをきっておく。
2. パプリカは、へたと種を取り除いて、細かめに切る。
3. フライパンにオリーブ油大さじ 3 とにんにくを入れて、弱火にかける。にんにくが色づいてきたら、パプリカを加え、さっと炒める。
4. ブロッコリーを加えて中火にし、にんにくと炒め合わせ、全体に油が回ったら、フライパン全体に広げる。ブロッコリーの水けをとばしながら、表面に香ばしい焦げ目がつくまで炒める。

栄養かに優れたブロッコリーをふんだんに食べられるイタリア料理です。

教会プログラム (毎週土曜日)

安息日学校 : 9:30-10:45 (公開放送)

礼拝説教 : 11:00-12:00 (公開放送)

午後の聖書研究 : 14:00-15:00

【公開放送】 <http://www.4angels.jp>



聖書通信講座

※無料聖書通信講座を用意しております。

□聖所真理



お申込先 : 〒 350-1391 埼玉県狭山郵便局私書箱 13 号「福音の宝」係
是非お申し込み下さい。

書籍

【永遠の真理】聖書と証の書のみに基づいた毎朝のよみもの。



【安息日聖書教科】は、他のコメントを一切加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。



聖書物語

パート2 第1話

人がもった園の家庭(1)

主なる神が創造された世界のあらゆる不思議とうるわしさの中のどこかに、「東のかた、エデンに一つの園を設けて、その造った人をそこに置かれた。」

みなさんは、園をもうけたことはありますか？すばらしいことでしょうか？特に種をまいて芽生えを待つ春の季節はそうですね。そして花が咲き始めるとき、穀物がみのるとき、キャベツやレタスのあたまがだんだん大きくしっかりとしてあとは食べるばかりになるときはわくわくしますね！

しかし、神さまがエデンの園を設けられたときは、違いました。このお方は種をうえる必要はありませんでした。創造主は、完全な大きさまで成長した木々や灌木（かんぼく）をただちにすべて正しい場所に、ご自分がおこうと望まれたちょうどその場所に出現させることができました。このお方は、ここに一群の高い杉の木がほしい、あそこにシラカバの木立がほしいと仰せになることができました。そうすると、このお方の言葉でそれら



は現れました。このお方は丘を松の木でおおい、もう一つの丘はアカスギで、別の丘はオークでとお命じになることができました。そうするとそのとおりになったのです。このお方は谷が黄色のキンポウゲでおおわれ、別の谷は真っ赤なアネモネで、他はあまい香りのヒヤシンスでとお命じになることができ、その通り

(43 ページに続く)